



「理科」の楽しみ～身のまわりの科学を楽しんでください～

理科を学習することは、私たちを取り巻く自然環境の中で、自身の生活をより安全で便利にし豊かにすることです。現在の生活が営まれているのも、これまでの多くの人がいろいろな発見をし、その法則や技術を活用し技術革新を行ってくれたおかげです。ですが、科学の知識がなくても現在の生活には困らないし、ゲーム機も使えます。ですから、仕組みなどわからなくてもよいという人も多いと思います。でも、私たちの身の周りには科学が溢れています。だからこそ、その科学を楽しんで欲しいと思います。身の周りの不思議やいろいろな現象に、興味をもって欲しいと考えています。そうすることで、知らなかったことや自然の原理に触れることができます。また、より安全に生活することも可能でしょう。学習したことは必ず皆さんの力になります。そして力になるように活用して欲しいと思います。以下にこれまでに学習したことに、生徒が寄せてくれた感想の一部を載せます。

<1年 再結晶の実験から>

○今日は理科でおもしろいことをやりました。再結晶とか、結晶とか・・・なにげにきれいでした。食塩なんかかっこいいことになっていました。うん、まさに結晶って言葉がぴったりの感じでした。小さくて・・・触りたくなりました、なんかかわいかった。一回消えたのが出てくるって・・・すごいですよね。

<3年 しし座流星群の観察から>

○昨日は9：30に集合。10：00頃に始まり、11：00頃に終わりました。5人で寝そべて、星空を見ていました。

確認しただけでも8回は流れていました。10：10ごろ、1回目真上に見えました。その後、2回目が北の空で見えています。それからはそれぞれが見えたり、見えなかったり。5人で5人が見られたのは最初だけです。

宇宙の広さと美しさ、夜の静けさと、星のきらびやかさに感動しました。あんなにきれいな流れ星を見たのは初めてでした。友達と見られたことで、その喜びが、いっそう増したように思います。

明日が last day らしいので、明日も見られればいいのですが、みんながわからないというので1人寂しく見たいと思います。最高の光景が頭の中に思い出の1ページとして残りました。

<不思議を見つけても…>

「理科は好きだけでも、なかなかテストで点が取れないんだよな」という意見も聞かれます。ここからは家庭学習の仕方について記載します。

普段の授業に真剣に取り組むことが大切ですが、しっかりとした学力を身につけるには、家庭学習にもきちんと取り組むことが必要です。

効果的な学習方法を3つ紹介します。

①教科書の音読と下線引き。

(○短時間にできる ▲1～2回では効果がない)

②用語の書き取り。

(○手軽 ▲用語と意味を結び付けないと効果がない)

③問題集を繰り返し解く。

(○直前のテストには効果的 ▲1回では効果がうすい)

右図は問題集を解いた回数とテストの点数の関係です。

